

かみくげ 恐竜の里新聞

平成二〇年八月二五日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第4号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

化石発見2周年

記念イベントに市長ら招待

恐竜化石発見2周年を記念して八月一〇日に発見現場と上久下地域づくりセンターの2会場で各種催しが行われ、市内外から約五〇〇人の来訪者で賑わいました。

発見現場では辻重五郎丹波市長、石川憲幸県議会議員や間伐材標柱に「丹波竜発見の地」の文字を書いていたいた畑内・常徳寺の三品守正住職らを招き、恐竜の里づくり協議会で製作した実物大木製丹波竜モニュメントの完成披露を行いました。

丹波竜の大きさを実感して欲しいと同協議会が延べ一五〇人にボランティア出演を依頼して一ヶ月で完成したモニュメントには帰省中の家族連れから大きな歓声があがりました。

現場に近い見学者用駐車場から発見現場までの農道の脇には一〇メートル間隔で各自治会老壮社会役員の呼びかけで集めた一〇〇〇枚近い短冊に願い事を書いて七夕のササに飾りました。

山南住民センターから借り受けた産状レプリカも発見現場に展示され、見学者から色々と発見時の様子などを説明員から聞いていました。



上久下地域づくりセンターでは「よみうり夏休み新聞教室」や「テーマ別自由研究」が開催され、五〇人の小学生や保護者が懸命に取り組んでいました。

里づくり協議会は、この記念イベントを地域の年間行事として毎年この時期に計画し、多くの参加を呼びかけることにしています。



地域づくりセンターの様子



完成披露のくすだま割り



化石レプリカが地域づくりセンターに展示されています

化石レプリカ（複製） 地域づくりセンターに貸し出す

山南化石工房に展示していた恐竜化石の一部のレプリカ（複製）が、上久下地域づくりセンター玄関奥にお目見えしました。レプリカは一次発掘で取り出した尾椎大小二個、血道弓が一個でガラスの展示ケースに収納されています。

地域づくりセンターに来られるかたは是非ご覧ください。レプリカと言っても本物と全く同じの大きさと形状です。今後さらに標本が増えるように関係者と協議を続けます。

恐竜足跡を描こう

恐竜の里づくり協議会では実物大木製恐竜ミニメントに引き続き、電車で来訪者に向けた、発見現場までの案内指標に恐竜の足あとを描く計画をしています。

下滝駅から発電所までの一・三キロメートルの距離の歩道上に、恐竜の足あとを数メートル間隔でペイントするものです。

図案は子どもたちから大人まで、幅広く提案を募り、いろいろな形をした足あとを並べます。

みなさんのご協力で図案の提供と作業の出役をよろしく願います。九月末までの完成をめざし、一〇月以降の各種大型イベントに間に合わせる予定です。

大空学級で奈良・水平社へ 上久下小学校6年児童研修

去る八月七日に上久下小学校六年生児童全員が生き方を育む校区事業として「大空学級」現地研修のため奈良県の水平社をたずねました。この研修会には父兄・教師の他、自治協議会校区委員からも五名が同行しました。

この研修会は地域自治協議会の二〇年度の事業の一環として行われたもので、子どもたちが社会の矛盾や不合理、

偏見などに気づき、人権感覚を身につけ、情緒豊かで健全な心身に育つことをめざしています。

水平社では差別のない「よき日」をめざした先人たちの熱き思いにふれ、子どもたちは大変感銘を受けました。



大空学級

九月の行事

- ★九月三日(水) 上久下自治協議会理事会 午後八時〇〇分より
- ★九月六日(土) 里づくり協議会定例会議 午後七時三〇分より
- ★九月二一日(日) 第五二回上久下地区体育大会 (予備日…九月二三日)

クラブ活動の紹介 ヨガ教室編

現在の会員数は一〇名で全員が女性。教室が始まってまもなく二年目を迎えます。代表は阿草の前田節子さん。活動は週一回(土曜日 夜八時から九時)です。

本場インドのヨガ・インストラクター、アルジュン・グプタさんが個人個人に合った全身運動で精神・肉体両面の健康指導をしています。月謝は三〇〇〇円。今は女性ばかりの会員ですが、男性にもふるって参加してくださいと呼びかけています。



ヨガ教室

今回から連続で、上久下地域づくりセンターで行われているクラブ活動を紹介していきます。次回はコーラスグループ「さくらんぼ」を紹介予定です。

自治会夏祭りの紹介 上滝自治会

各自治会ではそれぞれに夏祭りを実施していますが、今回は「丹波竜音頭」をいち早く取り入れて、恐竜の里をPRしている上滝自治会の夏祭りを紹介します。

山南おどりとともに丹波竜音頭(作詞・振り付け…丹波市観光協会の岸本稚世さん)に多くの自治会員が参加して熱気ある踊りの輪ができました。帰省中の家族も含め、約二〇〇名が参加したお盆の最中の夏祭りでした。

他に催しとして、花火、お楽しみ抽選会、金魚すくい、屋台ではおでん、かき氷、とうもろこし、フランクフルトなど多彩なメニューにみなさん舌つづみを打たれていました。

読者の一言

『化石発見二周年記念での「大人と子どもの七夕まつり」は是非来年以降も続けて欲しいです。一千枚の短冊には、みなさんのすばらしい夢や願いごとが書かれていましたよ。』

協議会より

恐竜の里新聞ではみなさんからの掲載記事に関するご提言をいただき、よりよい新聞づくりをめざしています。どんなことでも結構です。地域づくりセンターまでお寄せ下さい。